



©車田正美・東映アニメーション

## ◎パチスロ聖闘士星矢 黄金激闘編

三洋物産が2012年に発売した「パチスロ聖闘士星矢」は、純増約2.8枚/GのAT「聖闘士RUSH」でファンの心をとらえました。その後継機が3月3日に市場導入される「パチスロ聖闘士星矢 黄金激闘編」。前作のセット数上乘せタイプから、ゲーム数上乘せタイプへと変わり、さらに熱くなった“聖闘士バトル”に迫ります。

AT特化機で、1セット40G+αのAT「聖闘士RUSH」（純増約2.8枚/G）を搭載。さらに、「BIG BANG RUSH」と「フリーズエクスクラメーション」という2種類の上乗せ特化ゾーンで、期待感を盛り上げる。

# ファン待望の聖闘士バトル復活

AT「聖闘士RUSH」の純増枚数は前作同様、約2.8枚/G。AT初当たり確率は1/230.7～1/152.5、出玉率は97.2～111.6%、コイン単価は設定1で2.96円、ベースは1000円あたり約32G。

前作は、ATの突入契機がゲーム数管理と自力チャンスゾーンの2パターンでしたが、今回はレア役によるAT直撃のパターンも（比率は5:2:3）。

通常からのAT突入のメインルートは、異色7ぞろいで突入する20G固定の擬似ボーナス「小宇宙BURST」で、その間は主人公・星矢が敵を倒せば倒すほど、当選期待度がアップします。

### ■AT「聖闘士RUSH」

赤7ぞろいから突入する「聖闘士RUSH」は、1セット40G+α。AT中は、レア役で、上乘せ特化ゾーン「BIG BANG RUSH」の入口となる「黄金激闘（ゴールドバトル）」への突入抽選を行います。

また、「聖闘士RUSH」の残りG数がゼロになると、引き戻しゾーン「火時計カウントダウン」に突入する場合があります。「火時計カウントダウン」はリプレイを含む全役で抽選しており、引き戻し期待度は50%以上です。

### ■「黄金激闘（ゴールドバトル）」

「黄金激闘」は、突入時点で10G以上の上乗せが確定するチャンスゾー

ン。突入後は、ファンに人気の「聖域十二宮」の物語に沿って、ゲームが進行します。

「聖域十二宮」とは、12の「宮」があり、その「一宮」ごとに守護する「黄金聖闘士」がいて、その「黄金聖闘士」に星矢ら、「青銅聖闘士」がバトルを挑むもの。「青銅聖闘士」が勝てば、上乘せ特化ゾーン「BIG BANG RUSH」に突入します。しかも、次回「黄金激闘」突入時は、次の「宮」のバトルがスタート。そして、ファイナルステージまでたどり着くと、戦いは「千日戦争」という最終決戦へと移り、バトル勝利期待度は100%にアップします。

### ■「BIG BANG RUSH」

「BIG BANG RUSH」中は、液晶画面に表示される「小宇宙（コスモ玉）」で上乘せ回数を表示。1玉3～7Gを意味し、1Gあたり最大200G上乘せします。また、約1/2.6でカットイン演出が発生。そこでBARがそろえば、「BIG BANG RUSH」がループします（最大継続率約83%）。

### ■「フリーズエクスクラメーション」

これは、「聖闘士RUSH」中のリプレイの一部などを突入契機とするG数上乘せ特化ゾーン。プレイヤーは、上乘せG数と継続期待度が異なる、5人のキャラから好きなタイプを選択でき

ます（平均上乘せ100G）。

そのほか、ロングフリーズ経由で発動する「PREMIUM BIG BANG RUSH」では、毎ゲーム100G以上を上乘せ。終了後は「千日戦争」へと移行し、さらなる上乘せが期待できます。

AT獲得期待枚数は平均約510枚。前作よりも、バランスの良い出玉が見込めます。それに、AT突入契機に、レア役による直撃パターンが加わったこともあり、全体的に、前作以上に夢が見られる一台といえるでしょう。

その前作が、最終的には市場に約4万3000台導入されたのに対して、本機の販売予定台数は約3万台。メーカー側は、今回も前作同様、需要が増えれば増台していくスタンスのようです。これはホールにも言えることで、今のパチスロ市場は、初期から多台数勝負する時代ではありません。まずは適正台数導入し、適正な運用を。その上で、稼働・粗利の推移を見ながら、増台を検討していただきたいですね。

### PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）  
株式会社アテイン 代表取締役  
関東の老舗ホール企業で約17年半勤務。店長としても新規・リニューアルを含めて6店舗を経験。業界歴は約23年。現在はホールコンサルタンのほかにも店長研修、セミナー講師、集客企画などマルチな活動を行っている（詳しくは<http://at-attain.com>参照）。「パチンコ必勝ガイド」「パチスロ必勝ガイド」など、ファン雑誌への登場も多数。